

環境建設工学科 在学生の声



大井梨紗子（おおいりさこ）さん

出身：徳島県・富岡東高等学校

所属：社会デザインコース

学年：4 回生

就職：四国建設コンサルタント

株式会社

環境建設工学科社会デザインコースの志望理由

高校生の頃にまちづくり・環境について興味を持ち、ホームページなどを調べていくうちに環境や社会デザインについて学べる環境建設工学科（環建）のことを知りました。入学してからは環境についての授業をはじめ土質力学，水理学，構造力学などを通じて構造物の建設についての勉強に幅広く取り組んでいます。

将来のキャリアパスについて

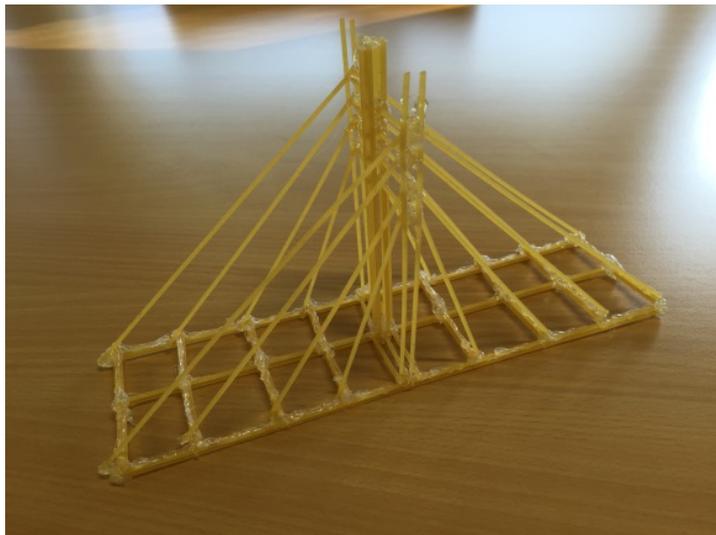
大学の講義（社会資本の整備と運用，建設倫理，都市・地域計画など）を受講していくうちに環境に配慮したインフラの設計に取り組みたいと考え，建設コンサルタントという職業に興味を持ちました。その中でも自分の地元でもある徳島県に貢献したいと考え，来春から当社が徳島県である四国建設コンサルタント株式会社に就職することが決まりました。将来的には現在の徳島県の自然を守りつつ，誰もが暮らしやすいまちをつかっていきたいと考えています。

大学生のライフスタイル

大学での授業はもちろん，サークル活動にも積極的に取り組んでいます。私はアカペラサークルに所属し，サークル内のライブはもちろん，大学祭や愛媛県内でのイベントにも数多く参加しています。サークル活動をしていく中で友人関係も広がり，休日には学科の友人のほかにもサークル仲間と飲み会に行ったり，遊びに行ったりすることが多いです。

大学の授業について

社会デザインコースでは、上級生とともに個別のプロジェクト研究を遂行する授業が毎年開講されています。私は、1回生のときに構造分野の研究テーマに取り組み、パスタで製作したブリッジに荷重を加えてたわむ様子を観察するとともに、たわみを計測したことが強く印象に残っています。



写真：実際に作製したパスタブリッジ

パスタブリッジの設計・製作，载荷試験まで自分で行ったことで，より興味を持ってたわみの計測に取り組むことができました。

環建ライフの良いところ

環建では構造物の建設に関して、重要な知識を幅広く学ぶことができる点が良いと思います。また、1回生の新入生セミナーBでは実際にしまなみ海道や今治造船、松山空港など見学に行くことも多く、目で見て学習することができますと思います。1,2回生の間は授業数が多く大変なこともあります。それだけたくさんの勉強ができ、知識を蓄えることができます。また2回生の後半以降は授業数も少なくなり、授業外で興味のあることに取り組む時間もできるので、安心してください！

受験生の皆さんにメッセージ

大学では今までと比べものにならないほど多くの人と関わる機会があると思います。また、講義の履修状況によっては朝早くから大学へ行く必要もなく、自由な時間も多くあり、アルバイトなど社会勉強にあてる時間も増やすことができます。私は高校生の時に大学に進学するか迷っていましたが、今までの学業や学業以外に

費やすことのできる自由な時間，特に課外活動やアルバイトを通じて社会勉強をする機会を持つことができ，大学に進学して本当によかったと思います。環建では，構造物の建設について幅広く学ぶことができます。その他にも環境やまちづくり，防災に興味のある人は，ぜひ一度オープンキャンパスに来てみてください。

今頑張っていること

私は今まで留学経験や留学生と交流したこともほとんどありませんでした。研究室に配属された現在，研究室内の留学生の方との交流も増えてくるのかなと思います。留学生との交流を通して日本との文化の違いなどを知れたらいいなと思います。また就職活動も終わり，今まで海外に行ったことがなかったため，卒業までには海外旅行に行こうと考えています。日本で暮らしていく中で気づかないことを海外に行って知ることで今後の役に立つと思います。また海外だけでなく，日本でも行ったことのない地域や自分が好きな美術館巡りなどにも行きたいと思っています。